

出羽山地：月山

- ◆日程 2022年5月5日(木)
- ◆メンバー L:OT、TY
- ◆天候 快晴

春合宿後、余力があれば山形の名峰月山に足を延ばすつもりでいた。合宿メンバーのTYさんが参加表明、直ちにホテル(YNさんに感謝)と帰りの夜行バスを予約、5/4飯豊からの下山後皆と別れてのんびりと山形へ移動。山形での夕飯はジンギスカンを満喫した。

5/5当日、山形市内と登山口の往復にはレンタカーを利用した。当初はバスを乗り継ぐことを考えたが、バスターミナルの掲示には満員時は乗車できないとある。GWの混雑では帰れなくなる可能性が多分にある。そこでTYさんがレンタカーの利用と提案してくれた。8時の営業開始から直ぐに出掛ければ、バスよりも早く現地に着くし、荷物のデポから帰りの寄り道まで自由度が増す。仕事で使い慣れているようで、あっという間にネット予約完了。自分には無かったアイデアなので唯々感謝だ。現地に着くと駐車場は満車に近く、既に多くの人は出発した後だ。ビーコン・プローブ・スコップなど必需品以外は車内にデポして身軽に出発。

リフトで一気に高度を上げ、姥ヶ岳へ直登。山頂からは朝日連峰、日本海、鳥海山まで一望できる。景色を楽しみながら補給をして、月山に向けて出発。稜線の小ピークを辿りながら高度を上げていく。月山直下の斜面には登山者が白いご飯にかけられた胡麻のように転々と見える。強い日光と照り返しで暑い。薄着にしておいてよかった。時折爽やかな風が吹き抜ける。雪はシャーベット状だ。山頂手前の岩場で小休憩し、いよいよ山頂へ。まずは神社にお参りしたうえで山頂を踏ませて頂く。ひとしきり景色を堪能後、下山開始。周囲にはすでにほとんど人がおらず、静かな斜面をずんずん降りていく。夏道はクラックが入った雪斜面下部なので避けることにし、スキーのトレース沿いに、尻セードなどしながら快調に進む。次いでリフト沿いに進んだ後、樹林帯を滑るように下降し、駐車場にゴール。結局アイゼンは使わなかった。帰途は「道の駅にしかわ」の温泉(300円)でサッパリし、河北町の蕎麦屋「といや」で肉そばを頂き満腹に。レンタカー返却期限一杯まで悠々とした山行ができた。因みにレンタカーは高速、燃料代込みで約12000円とリーズナブル。山形からは電車で仙台に移動し、夜行バスに乗り、翌5/6朝YCATに到着。充実したGWの旅を終えた。(記:OT)

CT:月山スキー場駐車場 10:00 - リフト下 10:20 = (リフト) = リフト上 10:30 - 姥ヶ岳 11:00/11:25 - 月山 13:15/14:00 - 駐車場 15:40

